

「角田市都市計画マスタープラン（案）」に関する意見等の概要及び市の考え方

No.	事項	意見等の概要	市の考え方
1	全般	以前の角田市都市計画マスタープランは平成25年に策定しているが、成果を取りまとめたものはあるのか。あれば示してほしい。	第2次都市計画マスタープランの策定にあたり、これまでの都市計画マスタープランに係る進捗状況や成果についてを取りまとめた上で本計画の主要課題等を整理しております。計画策定の際に使用した資料につきましては、HP上で公表しておりますのでご参照ください。
2	全般	本計画にかかる費用がわからないと計画の実効性を疑うので、概算での予算を示してほしい。施策が達成された場合どのくらいの予算が使われたのかを知りたい。	第2次都市計画マスタープランの方針や関連する施策に基づき、事業の実施に必要な予算については、随時、角田市第6次長期総合計画の実施計画に反映していくことになります。
3	P8 - 第2章 2-1角田市の現況 (2) 人口動態 ① 人口推移	少子高齢化は全国的な課題であり避けられない。 中間層、高齢者が助け合える事業が必要だ。シルバー人材やなんでも屋のような低価格料金で仕事や買い物を依頼出来る環境づくりが必要ではないか。ヨークベニマル・ヤマザワなどの店舗との連携も視野に入れてはどうか。	第2次都市計画マスタープランにおいては、「第2章-3 都市づくりの主要課題」において、「少子高齢化の進行」を都市づくりの共通課題と整理しており、それを踏まえて各分野別の都市づくりの主要課題を設定しております。 なお、ご提案の内容につきましては、角田市第6次長期総合計画においても、民間事業者をはじめ、多様な主体との連携により街なかの活性化や賑わいの創出に取り組むこととしております。
4	P17 - 第2章 2-1角田市の現況 (4) 都市機能 ③ 交通体系	阿武隈急行線やバス利用を考えると市内の公共交通は不便であり、徒歩圏内での駅などが遠く車利用が多くなる。阿武隈急行線は時間や本数も限られるため、船岡駅・大河原駅などでJR線に乗車するケースが多い。 駅までの人流をどうするかが課題であり、特に高齢化が進めば乗合タクシー利用しかなくなる。公共交通機関の利便性が低いと感じている人が多いことから、国会で検討されているライドシェアの運用が必要ではないか。	第2次都市計画マスタープランにおいては、「第2章-3 都市づくりの主要課題 (2)交通体系」において、公共交通に係る施策については課題が多いと整理しております。また、「第4章 4-2 交通体系の基本方針」において、人口減少や高齢化社会における地域の移動ニーズにきめ細やかに対応するため、「地域公共交通計画」の策定を検討することとしており、ライドシェアに限らず、効果的な交通体系の構築に向けて検討することとしております。

「角田市都市計画マスタープラン（案）」に関する意見等の概要及び市の考え方

No.	事項	意見等の概要	市の考え方
5	P27 - 第2章 2-1角田市の現況 (7) 産業 ④ 農業	<p>総農家数は減少が続き、特に販売農家数は平成 12(2000)年以降の 20 年間で半数以下にまで減少している。</p> <p>農業従事者の高齢化に伴い作付けできない農地が増えている。若年層や早期リタイヤした中間層などが農業技術を習得できる機会の創出が必要だ。土地改良区や生産者組合などを通じて営農しやすい環境づくりを目指すとはよいのではないか。</p>	<p>第2次都市計画マスタープランにおいては、「第4章 全体構想 1.土地利用の基本方針」において、生産基盤の整備や農業後継者の育成、先進技術の活用など、多様な農業振興施策と連携して遊休農地の発生について、抑制を図ることとしております。</p> <p>なお、ご提案の内容につきましては、角田市第6次長期総合計画において、大規模な企業的経営をはじめ家族経営や副業としての農家など多様な形態の農業経営体が活躍する農村地域を目指し、各経営体の取り組みに適した支援に努めることとしており、国や県と連携し就農に係る初期費用の支援等を行うなど、今後も様々な形態の営農ができる環境づくりを目指してまいります。</p>
6	P33 - 第2章 2-1角田市の現況 (8) 市民アンケート結果	<p>市民アンケートの結果で重要度が高く満足度が低い施策として「空き家問題」「医療福祉施設などの充実」「道路の整備」「防災対策」があり、市民から改善を求められているものと考えられる。これらに関する施策を達成してほしいので計画に載せるだけでなく現実味を持つ文面にしてほしい。</p>	<p>第2次都市計画マスタープランでは、目標年次を10年後として、解決すべき課題と実現を目指す具体的な施策を示しており、施策の実現のために今後は「角田市第6次長期総合計画」で示されている KPI（重要業績評価指標）と連携・整合を図りながら、計画の進捗管理を行ってまいります。</p>
7	P41 - 第2章 3 都市づくりの主要課題	<p>本項における結びの文言が「～が必要」という文言であり他人事のように感じる。市民に対して説得力のある文言を用いてほしい。</p>	<p>第2次都市計画マスタープランの構成として、これまでの角田市都市計画マスタープランの総括や各種調査、アンケート、ワークショップ等の実施から得られた結果を踏まえつつ「第2章 3 都市づくりの主要課題」として整理しているため、「～が必要である」という表現をとっているものです。それらの課題に対しては、第3章以降において、今後必要となる理念や施策をまとめており、課題と施策が対応する形でまとめておりますのでご了承ください。</p>
8	P68 - 第4章 4-4 都市環境の基本方針 (3) 地球環境に配慮したまちづくりの推進	<p>脱炭素及び再生可能エネルギーと本計画とは関連性が大きいので、何年までに達成するといった目標年次を入れてほしい。</p>	<p>第2次都市計画マスタープランの「第1章 1-4 計画の概要」において、他の項目と同様に目標年次は10年後に設定しております。</p>